

キャラクター名 テッド・マークスマン
プレイヤー名

種族	タビット	種族特徴	第六感		
生まれ	魔動機師	性別	男	年齢	18
冒険者Lv	15	経歴			
経験点	6000				

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
技	8	器用度	4	28		40 + 2	7	シューター	12	エンハンサー	5
		敏捷度	1	2	2	13	2	プリースト	5	アルケミスト	1
体	5	筋力	5	6		16	2	マジテック	15		
		生命力	8	13		26	4	スカウト	7		
心	9	知力	16	27	-1	51	8	レンジャー	10		
		精神力	6	5		20	3	セージ	7		

戦闘特技				言語			会話	読文
ルーンマスター	IB34 p	狙撃	1-293p	交易共通語		○	○	
トレジャーハント	2120p	命中強化	2-230p	神紀文明語			○	
ファストアクション	2123p	鷹の目	1-280p	ドレイク語	○	○		
治癒適性	2122p	魔法収束	1-291p	汎用蛮族語	○	○		
不屈	2123p	魔法制御	1-291p	魔動機文明語	○	○		
ポーションマスター	2123p		p	魔法文明語	○	○		
鋭い目	2120p		p	妖魔語	○			
弱点看破	2121p		p					
ターゲットィング	1-280p		p					
武器習熟A/ガン	1-281p		p					
露払い	OP135p		p					

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ		
アンチボディ		
ビートルスキン		
ストロングブラッド		
デーモンフィンガー		
ヒールスプレー		
軍師の知略		
神展の構え		
怒涛の攻陣Ⅱ 旋風		
強靱なる丈陣Ⅱ		
効力亢進Ⅰ		
怒涛の攻陣Ⅲ 旋刃		
強靱なる丈陣Ⅲ		
掃討の勝鬨		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	12	19	14	14

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧 過敏なスプリントアーマー		15		5
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	合計値		0	5

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
過敏な正直者のロングバレル+1 <small>射程50m,装填数1,ダメージ+1 【アビリティ強化:命中+1 C-1 弱い属性を受けた時ダメージ+2 真偽判定-4】</small>	2H	15	3	2d+ 24	9	29											
デリンジャー <small>射程10m,装填数2</small>	1H	1	2	2d+ 23	10	24											
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	13 m	39 m	2d+ 0	5	73	神聖魔法	5	13			
						魔動機術	15	23			

装備品		説明	装備品		説明
頭	ラルヴェイネの羽冠				
耳	スポッタードール				
顔	勇者の聖印				
首	スマルティエの銀鈴				
背中	マジスフィア大				
右手	器用の腕輪		左手	正しき信念のリング	
腰	多機能ガンベルト			アルケミーキット	
足	ディスプレイサーガゼット				
その他	平準の指輪			グリーンベルト	

その他メモ	自動失敗
ファドレア神聖王国が抱える長大な宣戦を機動的に支える必要に応える形で組織された民間軍事組織FEFS（ファドレア・イージス・フォース・サービス）という組織がある。	チェック
構成員の多くは自国・近隣各国の若い労働者・農民・冒険者などをスカウティングされたものたちであり、多くの者は居場所がなくここに行きつく。	□□□□⑤
規模は小国の全軍に匹敵するほどである。	□□□□⑩
自社で構成員に教育をするシステムとなっており、正規軍では揃えにくい技能を持つ人材も抱えており、それ目当ての国からの任務依頼を受けることも多く、必要な場所に必要な戦力を必要ときに供給することを売りにしている。	□□□□⑮
FEFSは国家とは深い結びつきがあるため、正規軍に廻せないような任務がこちらに来るなどはザラであり、テッドはそれに巻き込まれる形となった。	□□□□⑳
テッドには国内に入り込んだ人になりすますタイプの蛮族を処理する任務であると知らされていたのだが実際は現政府にとっての対抗勢力の実力者の暗殺任務だったのだ。	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

